

一 読み

/12

二 画数

/4

三 送り

/5

四 構成

/6

五 部首

/6

六 対義

/6

七 同音

/7

八 誤字

/7

九 四字

/6

十 書取

/12

合計

/71

合格のめやす
50問(7割)

一

線の漢字の読みを、ひらがなで書きましょう。

① 憲法について学ぶ。

けんぽう

② 綿でできたふく。

わた

③ 余分を買っておく。

よぶん

④ 手をきれいに洗う。

あらう

⑤ 桜の花がさく。

さくら

⑥ 二人であそぶ。

ふたり

⑦ 本を友だちに貸す。

かす

⑧ 夜の森は怖い。

こわい

⑨ きゅうしよくの時間になった。

じかん

二

次の漢字は、何画で書きますか。数字で書きましょう。

⑩ 快適なへやですぐす。

かいてき

⑪ 矢印の方こうにすすむ。

やじるし

⑫ この川は危険だ。

きけん

① 職

18

画

② 続

13

画

③ 役

7

画

④ 酸

14

画

三

——線のことばを、漢字一字と送りがなで書きましょう。

れい

くるまがとまる。

止まる

① 馬があばれる。

暴れる

② 星があらわれる。

現れる

③ こたえをよくかんがえる。

考える

④ きけんをおかすのはやめよう。

冒す

⑤ 写真を新聞にのせる。

載せる

四

次の熟語の組み立ては、「」の「ア」「エ」のどれにあたりますか。記号で書きましょう。

ア 同じような意味の漢字を組み合わせたもの(れい 岩石)

イ 反対や対になる意味の漢字を組み合わせたもの(れい 左右)

ウ 上の漢字が下の漢字をくわしくしているもの(れい 青空)

エ 下の漢字が「くを」「くに」にあたるもの(れい 読書)

① 絵画

ア

② 得失

イ

③ 良質

ウ

④ 植樹

エ

⑤ 雌雄

イ

⑥ 観察

ア

五

部首がつく漢字を□に書きましょう。□の右は読みです。

れい

イ
(にんべん)休
やす
む① 遊
(しんよう)
び場

②

進
すす
む貝
(かい)

③

財
ざい
力

④

貧
ます
しい才
(てへん)

⑤

押
お
す

⑥

握
にぎ
る

六

反対の意味のことばを、「」から
えらんで漢字で書きましょう。

れい

大きい ⇄ 小さい

「とうせん かねつ かつ もくどく ひだり
びんかん」

① 音読 ⇄

黙
読

② 負ける ⇄

勝
つ

③ 右 ⇄

左

④ 冷却 ⇄

加
熱

⑤ 落選 ⇄

当
選

⑥ 鈍感 ⇄

敏
感

七 次の——線のカタカナを、漢字で書きましょう。

① ぐらしのエン助を受ける。

援

② イ大な人物の話聞く。

偉

③ おさないころの記オクがよみがえる。

憶

④ おこづかいを貯チクして本を買う。

蓄

⑤ 池の水面に月のカゲがうつる。

影

⑥ 低い峠をこえて次の町へ行く。

越

⑦ 古い宮デンをおとずれて見学する。

殿

八 次の文には、同じ読みのまちがった漢字が一字あります。誤字と正しい漢字を、右と左の口に書きましょう。

① 冬は空気が官燥しやすい。

誤 官

正

乾

② 昨夜、大きな地信があった。

誤 信

正

震

③ 窓ガラスに水敵がついている。

誤 敵

正

滴

④ 美しい色採の絵をかいだ。

誤 採

正

彩

⑤ 自己少介をして友だちをつくる。

誤 少

正

紹

⑥ この箱は常夫で長持ちする。

誤 常

正

丈

⑦ 用紙に性名を書いてください。

誤 性

正

姓

九

意味を読んで、□に入る漢字を書き、四字熟語を完成させましょう。

① 美辞 **麗句**

きれいにかざりたてた、うわべだけのことば。

② 電光石 **火**

いなずまのように、ひじょうにすばやいうごき。

③ 山 **紫** 水明

山はむらさき色にかすみ、川はすみきったけしき。

④ **傍** 若無人

人のことを気にせず、思うままにふるまうこと。

⑤ 疑心暗 **鬼**

うたがう心から、なんでもないことまでこわく思うこと。

⑥ 抱腹絶 **倒**

はらをかかえて、ひっくりかえるほどわらうこと。

＋ 線のことばを、漢字で書きましょう。

① しあいの時間がのびる。

延

② しょうごにかねがなる。

正午

③ はこのなかみをたしかめた。

中身

④ ざいこうせいが入学生をむかえる。

在 校 生

⑤ どうとくのじゅぎょうをうける。

道 徳

⑥ 夏は日が長く、冬は日がみじかい。

短

⑦ どうでできたかね。

銅

⑧ 写真をアルバムにおさめる。

収

⑨ 話し合いは三時間におよぶ。

及

⑩ はさみでいろがみをきる。

切

⑪ 今日の夕ごはんはようしよくだ。

洋 食

⑫ しょうらいのきぼうを話す。

希 望

